



# ほけんのまどから



## 1月感染症情報

感染性胃腸炎で診断のついた人数(下痢・嘔吐症状)

乳児:3名 幼児:2名

上記以外にも下痢・少量嘔吐の症状がみられるお子さんが数名いました。

※感染性胃腸炎(ノロウイルスなど)は集団生活で流行しやすい病気です。突然の嘔吐、頻回に続く下痢(約2~3回/日)の場合はこまめな水分補給をしながら早めの受診をお願い致します。

おしらせ

けやき組でMRワクチンの追加接種がまだの方は就学前までに接種をしていきましょう。



## ☆乳児さん向き☆ お薬の飲ませ方

自我が芽生える1歳前後から、3歳ころまではお薬を飲ませることに苦労する家庭が多く見られます。今回は「お薬団子」の作り方を紹介します。

1. 手をきれいに洗う
2. 底の浅いお皿に出す
3. スポイトで水を1滴ずつ加える(多いと失敗しやすい)
4. 指かスプーンで練る(指だと硬さを感じやすく水分がしみこみやすい)

\*服用のタイミングも上手く飲ませるポイントです。特に乳児は食後だとお腹がいっぱいで飲めない事があります。吸収率などへの影響がない薬であれば、食前に服用させるのも一つの方法です。



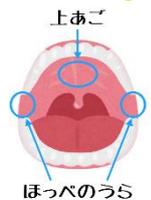
水が少ない

適量

水が多い

## ☆飲ませ方☆

お薬団子は「上あご」か「ほっぺの裏」にこすりつける様においてあげましょう。舌の上は味を感じるため避けましょう。飲んだ後はミルクや好きな物を飲み頑張りを褒めてあげましょう。



## 嘔吐後消毒液の作り方おさらい

12月から1月にかけて、園で感染性胃腸炎が流行中です。子どもは突然嘔吐することが多いので、焦らない為に家庭でも準備しておくとう安心ですね。

消毒液用のペットボトルに次亜塩素酸(ハイターなど)の量を記入して用意しておく、手袋・マスク・ビニールエプロン・ペーパータオルや雑巾・ビニール袋2枚をひとまとめにしておくともしもの時に安心です。

### 家庭でできる消毒液の作り方

1. ペットボトル(500ml)を用意します。
  2. ペットボトルのキャップ1杯分または2杯分の次亜塩素酸ナトリウム(ハイター)を入れた後、水を入れます。
- ※吐物・汚物と接触面では、消毒液の濃度に違いがあるのでご注意ください。

消毒液の作り方  
(次亜塩素酸ナトリウム)  
0.1% 吐物・汚物  
0.02% 接触面



布団の上には介護用(ペット用)シーツを掛けておくとう便利! 45Lビニール袋を切ってエプロンも作れます。